学校番号	1205

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）日常に潜む数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、主体的な取り組みが大事です。どんな問題も、まずは自分の意見を書くようにしましょう。その意見をもとに、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。課題を通して数学への興味、関心を高めてください。
・授業中は自ら設定した課題に向き合い、自身で気づいたことやクラスメイトの発言・意見などをプリントに記入しながら、主体的に取り組むようにしましょう。
・グループワークなどで、他者と協力して課題に取り組む活動もあります。自分の意見やクラスメイトの意見を大切にし、積極的に授業に参加してください。
・授業ごとにプリントや発表用課題などを提出してもらいます。返却されたプリントはファイルに綴じて管理してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
自ら課題を設定し、必要な情報を収集しながら物事を論理的に思考する力を育むとともに、他者に伝えるプレゼンテーション力を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
問題解決力やチームワーク力を高めるとともに、自分の意見を他者に伝える力や他者の意見を尊重するコミュニケーション力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
日常生活にかかわる身近な題材を数学的に分析し、考察する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活の身近なことに使われる数学に注目し、その数字の意味や有用性を理解している。また、インターネット等で必要な情報を収集して知識を身につけ、数学的に処理することができる。	日常の中から数学に関わる課題を取り上げ、必要な情報についてインターネット等を用いて収集しながら、物事を論理的に思考する力を高めるとともに、他者に伝えるプレゼンテーション能力を身につける。	ポスター・スライドの作成やプレゼンテーションを通して、問題解決力やチームワーク力を高めるとともに、自分の意見を他者に伝える力や他者の意見を尊重するコミュニケーション力を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	日常生活に使われる数字	1 オリエンテーション 2 情報の集め方 3 確率を求めてみよう	a:日常生活で数字が頻繁に使われていることを理解し、多くの情報を数字によって処理することができる。また、情報収集の手段や手法を理解している。 b:料金表などの情報を数式で表現し、処理することができる。また、情報収集の手段や手法を条件に応じて利用し、適切に情報を集めることができる。 c:グループに積極的に参加し、意欲的に課題に取り組んでいる。	プリント	プリント	プリント 観察
	プレゼンテーションの手法を学ぶ	1 プレゼンテーションソフトを利用した発表方法、原稿の作成方法 2 日本/世界で一番〇〇なモノ	a:発表したい内容を、プレゼンテーションソフトを利用してまとめる方法を理解している。 b:プレゼンテーションソフトを利用し、内容を適切にまとめ、的確に表現することができる。 c:発表の準備を意欲的に行い、できるだけ伝わりやすい発表をしようとしている。また、他者の発表を受け入れ、自らの発表の参考としている。	プリント	プリント スライド	プリント 評価用紙 観察
2学期	日常生活における規則性の発見	1 カレンダーから規則性を見つけよう 2 「一筆書き」できる図形を考えよう	a:カレンダーの日付の並びや、「一筆書き」できる図形について、その規則性を読み取ることができる。 b:カレンダーの日付の並びや、「一筆書き」できる図形が持つ規則性について、文字などを用いてその性質を表現できる。 c:自身が見つけた規則性について、他者に伝わりやすい発表をしようとしている。	プリント	プリント ポスター	プリント ポスター 観察

	図形を用いた表現活動	1 テセレーションで模様を作ろう	a:エッシャータイリングにより、同じ図形をしきつめることで規則性のある模様を表現できる手法を理解している。 b:正方形・平行四辺形などの紙を加工してテセレーションの基本となる図形を作り出し、自分なりの模様を表現することができる。 c:見本を模倣するだけではなく、積極的に独自の模様を作り出そうとしている。	プリント	プリント 作品	プリント 観察
	日常生活と数学との結びつき	1 単位について考えよう 2「数学は役に立たない」は本当か	a:身の回りのものについて、対象に応じて単位が使い分けられることを理解している。また、高校までに学習する公式や数学的な性質について、どの時期に学ぶものか、どのような特徴があるかを理解している。 b:身の回りで扱われている単位について、その背景や用法を調べ、内容を適切にまとめて的確に表現することができる。また、高校までに学習する公式や数学的な性質が、日常生活の中でどのように利用されているかを調べて内容を適切にまとめ、具体例などを交えて表現することができる。 c:単位がもつ性質や有用性について、調べた情報を意欲的にまとめようとしている。また、発表の準備を意欲的に行い、できるだけ伝わりやすい発表をしようと意識し、他者の発表を受け入れて自らの発表の参考としている。	プリント	プリント スライド	プリント 評価用紙 観察

3学期	情報をまとめて活用しよう	1 グラフについて学ぶ 2 ちょっとバカりハカってみよう	a:日常生活で扱われる代表的なグラフの特徴について理解し、表現したい内容について、どのグラフを用いて表すと適切に表現できるかを理解している。 b:収集したデータについて、プレゼンテーションに最適なグラフを選択することができる。また、他者に理解できるように表現の内容を工夫している。 c:発表の準備を意欲的に行い、できるだけ伝わりやすい発表をしようとしている。また、他者の発表を受け入れ、自らの発表の参考としている。	プリント	プリント グラフ	プリント 評価用紙 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度